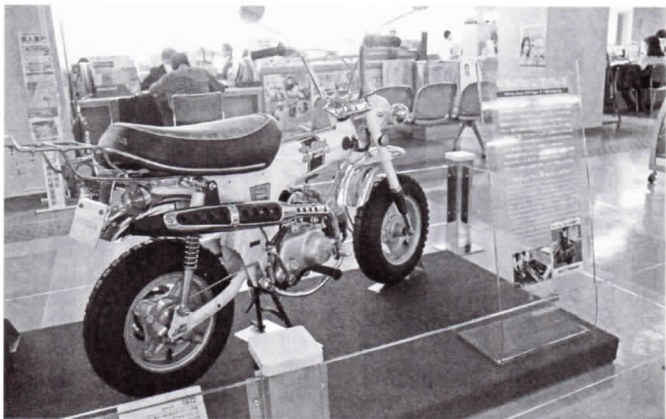


ホンダ歴代バイク 和光市役所ロビーに展示



ダックスホンダ S T 50

本田技研工業株式会社は、市が生産拠点として誘致した1953年（昭和28年）以来、長年にわたる和光市の産業振興の主要な役割を担ってきた。

現在では、和光市内に最先端の技術革新の研究拠点及び国内営業の本社機能を有している。市はホンダとの関係に鑑み、創業者本田宗一郎氏が熱い情熱を注いだ歴史的・博物館的にも価値あるバイクを知ってもらおうと本庁舎1階ロビーに2月4日から展示した。

松本武洋市長が市内の関連会社に展示されていた歴代バイクを見て、市役所で展示ができないかを申し入れ、ホンダが快諾。

その後協議により、ホンダが世界に送りこんだ名車の数々の中から毎月1台無償で貸し出されることになった。「是非、マニアの方々には、ここ（和光市役所）を自指してきていただけるような空間を造りたい」と市長は語った。

今回は、展示車両をより美しく、安全に展示するため、展示台やパー

テーション等について市内事業者から協力を得て、まちぐるみで取り組んでいく事が、市の活性化にも寄与することにつながるとネーミングライツ第2弾として市内事業者から参加を募り、5社の応募があり、その5社の協力を得て展示することになった。ホンダバイクは市長とホンダとの協議により無償貸与、展示台やパーテーションはネーミングライツとして実施するため、市の費用負担は発生しないという。